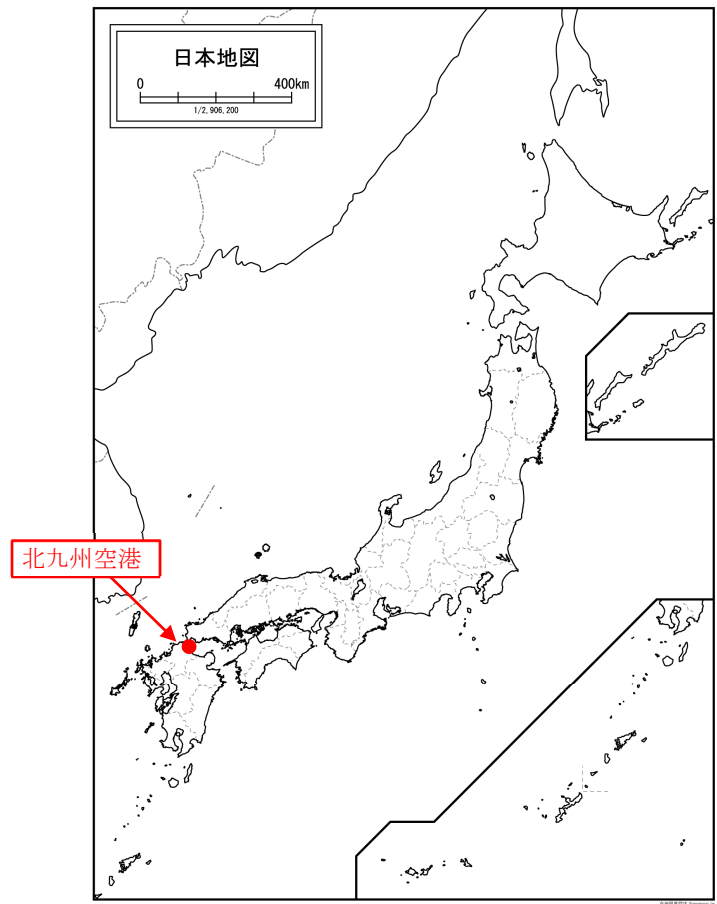


事業名(箇所名)	北九州空港滑走路延長事業		担当課	航空局 航空ネットワーク部 空港計画課	事業主体	九州地方整備局 大阪航空局				
			担当課長名	中原 正顕						
実施箇所	カルテ表示項目					評価年度	令和4年度			
	福岡県北九州市及び苅田町									
	検索対象都道府県									
主な事業の諸元	福岡県									
事業期間	事業採択	令和5年度	完了	令和9年度						
総事業費(億円)	130億円									
目的・必要性	<p>北九州空港の背後圏では、国際航空貨物を利用する必要があるにもかかわらず、九州に北米・欧州を結ぶ貨物定期便が就航していないため、関東や関西等の遠方の空港を利用せざるを得ないといった課題がある。</p> <p>荷主や貨物航空会社からは、航空貨物の発地・着地に近くいつでも利用可能な空港の利用が望まれており、地元自治体等からも、大型貨物機の長距離運航を可能とするため、滑走路延長整備事業に対する要請がなされている。</p> <p>北九州空港から北米・欧州へ新たな航空物流ルートが形成されることで、九州・西中国地域に立地する企業の国際航空貨物の輸送費用及び輸送時間が改善されるだけでなく、国際競争力を高めることに繋がることから、背後圏地域の発展のために滑走路延長が必要である。</p>									
便益の主な根拠	<p>【便益の内訳】</p> <p>利用者便益(輸送費用の削減等):349億円  供給者便益(着陸料収入等):39億円  残存価値:61億円</p> <p>【主な根拠】</p> <p>背後圏企業の北米輸送の需要  北米向け輸送貨物量:11,650t/年</p> <p>【費用の内訳】</p> <p>事業費:110億円  改良・再投資費:25億円</p>									
事業全体の投資効果性	基準年度		令和4年度							
	B:総便益(億円)	449	C:総費用(億円)	135	EIRR (%)	13.7	B-C (億円)	314	B/C	3.3
感度分析	需要予測: 下位ケース ~ 上位ケース		B/C	NPV(B-C)		EIRR				
	建設費: +10% ~ -10%	3.0 ~ 3.7	268 ~ 359億円	12.5 ~ 14.9						
事業の効果等	<p>【貨幣換算した効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北米向け貨物の輸出にかかる陸上輸送費用の低減及び輸送時間の短縮。</li> <li>特殊貨物(航空部品及び人工衛星)輸送にかかる海上輸送費用の低減。</li> </ul> <p>【貨幣換算が困難な効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>九州・西中国地域に立地する産業の活性化と国際競争力の向上</li> <li>長距離貨物便が新たに北九州空港から就航することにより、荷主が突発のニーズに対応することができ、物流の速達性の向上が図られる。</li> <li>陸上輸送距離の短縮により、輸送中の精密物品(半導体等)などの破損リスクが低減される。</li> <li>陸上輸送コストの削減により、荷主企業及び関連企業の収益の向上が期待される。</li> <li>地域の交通(物流)の利便性が高まることで、新たな企業立地が期待される。</li> </ul> <p>■陸上輸送の効率改善効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トラックによる陸上輸送距離の短縮を通じたドライバーの労働環境の改善。</li> </ul> <p>■大規模災害発生への対応とBCP機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>物流輸送ルートの多重化。</li> <li>大規模災害などの緊急事態における事業継続計画への寄与。</li> </ul>									
その他	<p>&lt;第三者委員会の意見・反映内容&gt;  新規事業採択時評価について、適当である。</p> <p>&lt;都道府県の意見・反映内容&gt;  本事業を予算化することについて、異存はない。</p>									
概要図(位置図)	北九州空港概要図									

位置図



概要図

